

口頭発表プログラム

2024年3月27日現在の情報です。

タイトルや発表順は若干変更が生じる可能性がございます。また、一部のセッションにおいて、ポスター演題から口頭発表に採択いたします。

教育セミナー

座長: 佐久間哲史(広島大学)、堀居拓郎(群馬大学)

ゲノム編集技術の最新動向

佐久間 哲史 (広島大学大学院統合生命科学研究科)

iPS細胞におけるゲノム編集技術～その目的と方法～

小島佑介 (京都大学 iPS細胞研究所)

簡便・効率的な遺伝子改変マウス作製のための技術開発と応用

三浦浩美 (東海大学医学部基礎医学系分子生命科学)

植物でのゲノム編集と野外栽培試験に向けた取り組み

安本周平^{1,2} (¹大阪大学大学院工学研究科、²大阪大学先導的学際研究機構)

技術

座長: 遊佐宏介(京都大学)、鈴木啓一郎(大阪大学)

RNA依存性DNAリコンビナーゼの構造と機能

西増弘志 (東京大学)

複数のニックにより相同染色体間相同組換えを誘導し、ヘテロ接合性変異を修正するゲノム編集-NICER法

中田慎一郎^{1,2} (¹大阪大学 高等共創研究院、²大阪大学 大学院医学系研究科)

Design and Application of Prime Editing in Human iPSCs

Knut Woltjen (Dept. of Life Science Frontiers, Center for iPS Cell Research and Application, CiRA)

細胞運命制御の鍵遺伝子をネットワークの構造だけから決定する

望月敦史 (京都大学医生物学研究所)

様々な生物

座長: 清成 寛(理化学研究所)、津田麻衣(筑波大学)

CRISPR/Cas9を用いたヤモリのゲノム編集

阿部高也（理化学研究所 生命機能科学研究センター 生体モデル開発チーム）
両生類のゲノムを読解して編集することにより器官再生の謎を解読する

鈴木賢一（基礎生物学研究所 超階層生物学センター）

昆虫の高効率ノックイン技術を活用して多細胞生物の表現型進化を理解する

安藤俊哉^{1,2}（¹京都大学白眉センター、²京都大学農学研究科応用生物科学専攻）

イネにおける DNA フリーなゲノム編集の高度化に向けて

戸田絵梨香（東京大学農学生命科学研究科）

医療応用

座長:北畠康司(大阪大学)、三木秀夫(田辺三菱製薬)

難治性疾患に対するゲノム編集の医療応用

内山 徹（国立成育医療研究センター研究所 成育遺伝研究部 疾患遺伝子構造研究室）

TBA

橋本 一憲（弁理士法人セントクレスト国際特許事務所）

産業応用

座長:西田敬二(神戸大学)、中村崇裕(九州大学)

ゲノム編集技術を活用した農作物育種の現状と展望（仮）

小林健人（グラウンドグリーン株式会社）

gRNA フリー塩基置換技術の開発と応用

八木祐介（エディットフォース株式会社）

植物のゲノム編集における「デリバリー技術」研究開発とカネカのアグリビジネス展望

島谷善平（株式会社カネカ アグリバイオリサーチセンター）

gRNA の機能拡張技術と遺伝子治療への応用

川又理樹（九州大学 生体防御医学研究所）

ゲノム編集で作製した低アレルゲン鶏卵の社会実装に向けて

堀内浩幸^{1,2}（¹広島大学ゲノム編集イノベーションセンター、²広島大学大学院統合生命科学研究科）